

納入  
実績

\*QRコードから動画をご覧いただけます。

着工日	現場名	発注者	施工業者	最大積載荷重
1995年5月	京都縦貫自動車道 舞鶴1号橋工事	京都府道路公社	フジタ・住友・京阪コンクリート 特定建設工事共同企業体	35,000 kg
2014年4月	中部横断丸滝トンネル工事	関東地方整備局	西松建設 株式会社	50,000 kg
2015年7月	中部横断 帯金第1トンネル工事	関東地方整備局	株式会社 銭高組	80,000 kg
2016年1月	豊平川水道水源水質保全 導水路新設工事その1	札幌市水道局	前田・岩田地崎 特定建設工事共同企業体	30,000 kg
2016年7月	東京外かく環状道路本線トンネル (北行)東名北工事	NEXCO中日本	大林・西松・戸田・佐藤・銭高 特定建設工事共同企業体	95,000 kg
2017年10月	熊本325号災害復旧 阿蘇大橋上下部工事(右岸)	九州地方整備局	大成・IHインフラ・八方 特定建設工事共同企業体	60,000 kg
2017年12月	丸山発電所 水路補強工事の内主要土木工事	関西電力	株式会社 安藤ハザマ	56,000 kg
2018年4月	熊本325号災害復旧 阿蘇大橋上下部工事(左岸)	九州地方整備局	大成・IHインフラ・八方 特定建設工事共同企業体	60,000 kg
2018年6月	新東名高速道路 柳島高架橋工事	NEXCO中日本	オリエンタル白石 株式会社	60,000 kg
2018年9月	新東名高速道路 河内川橋工事	NEXCO中日本	鹿島・大成 特定建設工事共同企業体	90,000 kg
2019年3月	新堀川第六発電所建設工事のうち 土木本工事(Ⅱ工区)	黒部川電力	鹿島・佐藤 特定建設工事共同企業体	60,000 kg
2019年4月	新東名高速道路 山北皆瀬川工事	NEXCO中日本	三井住友・大日本土木・フジタ 特定建設工事共同企業体	46,000 kg
2020年11月	上信越自動車道(落石対策) 北野牧(その1)工事	NEXCO東日本	株式会社 大林組	80,000 kg
2020年12月	新名神高速道路 信楽川橋東(下部工)工事	NEXCO西日本	青木あすなる建設 株式会社	65,000 kg

## タグチ工業株式会社

■ 本社  
〒812-0007  
福岡市博多区東比恵3-28-27  
TEL: 092-292-1622 FAX: 092-292-1623

■ 東京支店  
〒105-0013  
東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル7階  
TEL: 03-5777-2201 FAX: 03-5777-2210

■ 北海道営業所  
〒060-0012  
北海道札幌市中央区北12条西18-1-19 ブリック札幌桑園1階  
TEL: 011-676-6665 FAX: 011-676-6664

■ 東京機材センター  
〒168-0074  
東京都杉並区上高井戸3-4-9  
TEL: 03-5777-2201 FAX: 03-5942-1252

■ 名古屋機材センター  
〒462-0007  
愛知県名古屋市北区如意4-48 GIMUCO A-3号室  
TEL: 052-908-7880 FAX: 052-908-7881

■ 佐世保工場(八天工業株式会社)  
〒859-6404  
長崎県佐世保市世知原町太田101-1  
TEL: 0956-76-2316 FAX: 0956-76-2361

■ TME株式会社(グループ企業) 本社  
〒168-0074  
東京都杉並区上高井戸3-4-9  
TEL: 03-6803-4777 FAX: 03-5777-2210

<https://taguchi-kogyo.com>

Product  
Guide  
04

斜面用運搬台車

インクライン設備

勾配：54.25°

導入  
の  
メリット

# 工期の短縮

アクセスすら難しい山岳現場を最短距離で結ぶ、  
タグチ工業のインクライン設備。  
安定した資機材の供給が、工期を大幅に短縮します。

# 安全性の確保

急峻な坂道の工事用道路を敷設する必要もなく、  
事故のリスクを軽減します。騒音、振動、排気ガスの低減など、  
現場周辺にお住まいの方々への配慮も行き届いた設備です。

# コストの削減

現場へのスムーズなアクセスが、  
コストに関する様々な恩恵をもたらします。  
専任オペレーターも必要なく、ランニングコストも軽減しました。

# 環境への配慮

インクライン敷設時の森林伐採は最小限に抑えられるため  
工事後の自然環境の復帰が早いことも定評があります。  
また、現場内の車両走行による二酸化炭素の排出を抑えるなど、  
カーボンニュートラルへの取り組みにも貢献します。

現場から寄せられる  
どんな難題も、  
少しナナメの目線で解決。  
タグチの  
インクライン設備。



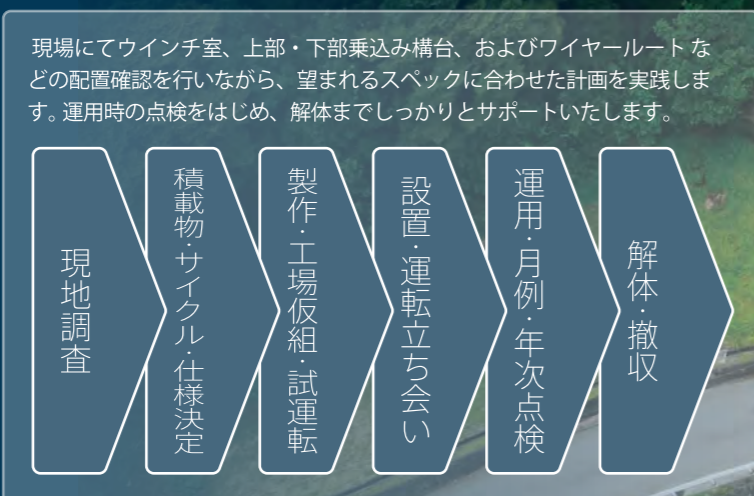
インクラインと都市土木との出会い。

2016年着工した「東京外かく環状道路 本線トンネル（北行）東名北工事」にとって、RCセグメント搬入の動線確保がひとつの課題となりました。道路の地下に敷設されたレールを通ってきた台車は、さらに切羽へと向かうラインに乗り換えるため、6mの高低差をクリアしなければなりません。クレーンによる移動をはじめ様々なプランが検討された結果、採用されたのがタグチ工業のインクライン設備でした。常に台車がレールに接地しているという、安全性を重視しての選択でした。こうしてタグチ工業のインクライン設備としては最少・最短のインクラインは稼働を始め、いまま黙々とセグメントを運び続けています。山岳土木の分野で磨いた技術力が、都市土木の分野にも活かされた一例です。

## SPEC

積載重量	約 30~100 t
積載物	●10 t ダンプ × 2 台 ●ラフタークレーン × 1 台 ●クローラクレーン × 1 台
巻上機動力	200~500 kW
台車速度	10~40 m/min
安全機構	逸走防止装置（第3軌条方式）、 光電センサー、深度計、 エンコーダー

## FLOW



## 新技術「セルフクライミング方式」

タグチ工業ではこのたび、台車が独自で上昇・下降できる「セルフクライミング方式」を採用しました。架台が全長完成する前から運用できるこの新工法によって、工期短縮やコスト削減を、さらに力強く後押しします。

